

イチオシ!

M OVIE

『トゥーマスト ～ギターとカラシニコフの狭間で～』

かつて青衣の遊牧民として、広大なサハラ砂漠を自由に行き来していたトゥアレグ族。しかしアフリカ各国が独立してからは、リビアやニジェールなどに分散して暮らすようになった。少数民族として差別を受け、苦しみと流浪の歴史の中、自由を求めて抵抗運動が始まる。“トゥーマスト”というバンドを率いるムーサも元戦士。今は武器をギターに持ち替え、音楽で世界を変えようと闘い続けている。激変する環境で生きる彼らの今を追ったドキュメンタリー。(文＝高倍宣義)



2010年／スイス／88分
監督：ドミニク・マルゴー
公開：2月28日(土)より渋谷アップリンク(東京)にて公開
URL：www.uplink.co.jp/toumast/
配給：アップリンク
TEL：03-6825-5503

E VENT

『小澤太一写真展「レト日和」』

世界中の子どもたちの撮影をライフワークとする写真家の小澤太一さんが、アフリカ南部の王国レトで撮影した作品の展示会が開かれる。平地が一切なく、世界で唯一、国土の全域が1,500メートルを超える高さに位置するユニークな国。山々に囲まれた国ならではの雄大な景色や、そこで暮らす人たちのありのままの姿を捉えた写真に、思わず引き込まれてしまう。2月11日(祝・水)に開催されるトークショーでは、世界各地を旅した小澤さんの貴重なエピソードが聞ける。

会期：2月10日(火)～20日(金) 10時半～19時(最終日は15時まで)
会場・問：コニカミノルタプラザ(東京都新宿区)
TEL：03-3225-5001
URL：www.konicaminolta.jp/plaza/schedule/2015february/gallery_c_150210.html

B OOK

『ブルネイでバドミントンばかりしていたら、なぜか王様と知り合いになった。』

人口約40万人、東南アジアの小さな国ブルネイに、日本大使館の職員として赴任した著者。「ブルネイと日本の懸け橋になりたい」と意気込んでいたものの、文化の違いにぶち当たり、政府の担当者からは事業を突然キャンセルされたりと、仕事は思うようにいかない。そんな彼を救ったのは、中学時代から熱中していたバドミントン。ブルネイの国技でもあるバドミントンを通じて、一般市民から役人、さらには王室にまで人脈を広げていった。国境を超えた“スポーツ外交”で大きく人生を変えた下っ端外交官の奮闘記。



大河内博 著
集英社インターナショナル
1,728円(税込)

この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

B OOK

『マララ 教育のために立ち上がり、世界を変えた少女』

2014年、史上最年少でノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさん。幼いころから教育の大切さを感じて学校に通い続け、15歳の時、イスラム武装勢力タリバンの銃撃を受ける。奇跡的に一命を取り留めた今、全世界に子どもの教育の大切さを訴えている。テロの恐怖に脅かされていたパキスタンで、彼女はどんな幼少時代を過ごしたのか。そして、自らが声を上げようと立ち上がったその理由とは一。本書は、貴重な写真や資料とともに、マララさん自身が初めて書き下ろした知られざる少女の物語。



マララ・ユスフザイ、
パトリシア・マコーミック 著
道傳愛子 訳
岩崎書店
1,836円(税込)

この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ